広報ただみ

5
2021 月号
No. 612
令和3年5月10日

今月の表紙

表紙は、４月６日に行われた只見中学校入学式で新入生代表誓いの言葉を述べる松永紗弥さんです。

誓いの言葉では、「３地区の仲間と自分を高めあい何事にも全力で頑張りたい」と星英典校長先生に力強く宣誓しました。

（関連記事：Ｐ２～３）

≪特集≫
町内小中高校 入学式 ………… ２～３
「縁結びのまち事業」始動 …… ４～５
≪News&flash≫ ……………… ６～７
≪町の話題≫ …………………… ８～９

Tadami Biosphere Reserve
只見ユネスコエコパーク

ご入学おめでとうございます

　今年度も小・中・高等学校で入学式が行われ、町内全体で８８名の児童・生徒が新たに学校生活をスタートさせました。
　新生活に不安も多いかと思いますが、各学校で過ごす時間は、入学生の皆さんにとってかけがえのない財産になることでしょう。
★今年度入学された各学校の皆さんを写真で紹介します。

▲入学生呼名では、一人一人の名前が呼ばれ、堂々と返事をしました。（只見中学校）

只見小学校

新入児童　６名
全校児童 42名

朝日小学校

新入児童　７名
全校児童 40名

明和小学校

新入児童　7名

全校児童　48名

只見中学校

新入生　34名

全校生　103名

只見高校

新入生　34名
（うち※山村留学生9名）

全校生　89名

※山村留学生とは、町外から只見高校へ入学した生徒のこと。

ＪＲ只見線全線再開通に向け

「縁結びのまち事業」始動！

只見町は「縁結びのまち」

▲三石神社

ＪＲ只見線全線再開通を間近に控え、開通時只見町に必要なことを「只見駅周辺の魅力化」と考え、「縁結び三石神社」を他にない魅力的な素材として挙げました。昨年度は会津短期大学、東北芸術工科大学（山形市）と協力して、「只見駅周辺魅力化向上事業」を実施し、パンフレットやデザインの作成をしました。

また只見町は「人と自然の共生」が価値あるものと認められ、平成２６年にユネスコ・エコパークとなっています。これは言い換えれば只見町の「自然」「歴史」「文化」「産業」など、様々な形の「ご縁」が評価されたものとも言えます。

先人たちが大事にしてきたこれらの「ご縁」を、これからのまちづくりのキーワードに掲げ、ユネスコ・エコパーク基本理念のひとつ「持続的な社会経済の発展」を具現化するため、「縁結びのまち」として、関係人口、交流人口の拡大を目指すこととしました。

※新型コロナウィルス感染症により只見町で活動ができない中、リモート会議で何度も大学と打ち合わせを重ねました。

▲リモート会議

縁結び各種グッズの作成

マスキングテープ・鉛筆・メモ帳など

▲縁結びグッズ

令和３年度「縁結びのまち」事業（予定）

▲整備に向けての打ち合わせ

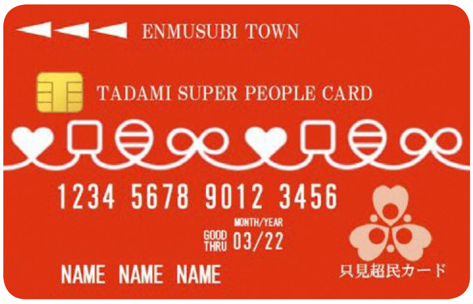
三石神社の遊歩道整備

縁結びとして人気の三石神社を気持ちよく歩いていただけるよう、東北芸術工科大学と連携し、遊歩道整備を行います。地域住民との共同作業を予定し、「地域の宝」として大事にする機運も高めます。

縁結び組織の立ち上げ

人間が求める「縁結び」の本質を考え、全国の縁結びスポット・研究者による団体を立ち上げ、「縁結び」を通じたまちづくりの可能性を発信します。

▲縁結び組織HP（案）



▲只見超民カード（案）

関係人口を増やす制度「只見超民制度」の立ち上げ

只見町をふるさと納税で応援していただける方を“只見超民”とし、寄付をしてくださった皆様が只見町に来訪してもらえるきっかけを作る「只見超民制度」を創設します。

令和３年度に３つの「縁結びのまち」事業を推進していくことにより、令和４年度のＪＲ只見線全線再開通時に只見町を目的地とした来訪者の拡大を目指します。

昨年度の事業成果

縁結び三石神社パンフレットの作成

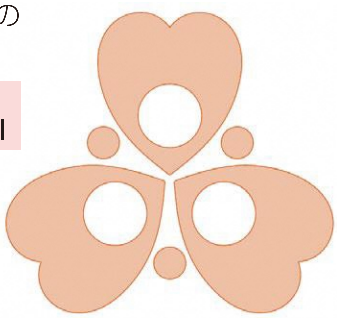
▲パンフレット

只見町縁結びデザインの作成

只見町縁結びのデザインを２つ作成しました。縁結びのまち事業で活用する他、広く地域住民の方が商品開発などでご使用いただけます。

デザイン活用について	https://www.town.tadami.lg.jp/abouttown/report/index.html

▲【只見】の文字をコヨリでつないだデザイン



▲町章をモチーフにしたデザイン

新たな仲間と対面
山村留学生第20期生対面式

県内外から只見高校へ進学する山村留学生第20期生9人の対面式が4月8日、只見振興センターで行われました。

留学生の自己紹介では、「地域のイベントに積極的に参加したい」、「新たな仲間と共に3年間を楽しみたい」、「自然の中でのびのび生活したい」などの学校生活の目標や意気込みが発表されました。式後には、お互いに打ち解け合い、新たな仲間との一歩を踏み出しました。

▲只見町山村留学生第20期生の皆さん

写真展「只見の自然と暮らしを撮る」
オープニングセレモニーを開催

ブナセンター友の会写真展「只見の自然と暮らしを撮る」のオープニングセレモニーが4月10日、ただみ・ブナと川のミュージアムで開催されました。

友の会会長の目黒吉久さんは、「写真展が只見町の生活や文化を多くの人に知っていただくキッカケになって欲しい。」とあいさつをされました。

※写真展詳細記事　P13

▲あいさつをされた目黒会長

鳥獣被害から守る
鳥獣被害対策実施隊・有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式

只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式が4月13日、只見町役場で行われました。隊員を代表して3地区の分隊長に実施隊員辞令書と捕獲隊員登録証が交付されました。

鳥獣被害対策や捕獲活動のために、隊員の方が農地や敷地に入ることがありますので、ご協力をお願いします。

▲辞令書を受取る深津和枝さん

重点事業を報告
町政報告会を開催

当年度の重点事業などを説明させていただく町政報告会が4月20日、朝日振興センターで行われました。

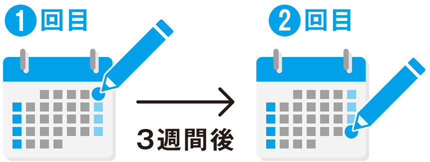
報告会では、集落座談会の開催、診療所の診療体制、有害鳥獣対策補助事業などについて町担当課から説明した後、各区長から事業に対する質問が挙げられ、活発な意見交換の場となりました。

▲各区長と町担当課長などが出席しました。

コミナティ®(ファイザー社)を接種予定の方へ

新型コロナウイルスワクチンを受けた後について

ワクチンは通常、
3週間の間隔で2回接種します。



◯2回目の予約方法については、1回目に受けた医療機関や市町村の案内をご確認ください。
◯接種後に現れた症状の種類によっては、2回目の接種は控えた方がよいこともあります。接種後に気になる症状が現れた方は、2回目を受けるかどうかも含めて、ワクチンを受けた医療機関やかかりつけ医にご相談ください。

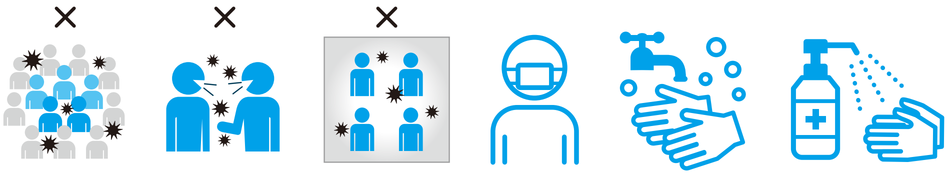
ワクチンを受けた後も

マスクの着用など、感染予防対策の継続をお願いします

　ワクチンを受けた方は、新型コロナウイルス感染症の発症を予防できると期待されていますが、他の方への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。また、ワクチン接種が徐々に進んでいく段階では、すぐに多くの方が予防接種を受けられるわけではなく、ワクチンを受けた方も受けていない方も、共に社会生活を営んでいくことになります。

このため、皆さまに感染予防対策を継続していただくようお願いします。

具体例 ）



密集場所　密接場面　密閉空間

「3つの密（密集･密接･密閉）」の回避

マスクの着用

石けんによる手洗い

手指消毒用アルコールによる消毒の励行

はじめての集団生活
町内保育所で入所式

新入所児の入所式が４月５日、町内各保育所で行われました。只見保育所の入所式では、名前を呼ばれた児童たちは元気に返事をしました。

○令和３年度入所児童数（入所式時点）

只見保育所　２４人
朝日保育所　３４人
明和保育所　３８人

▲只見保育所入所式の様子

子育てを通じて地域交流
令和３年度かるがもクラブ開講

▲みんなで一緒に親子交流を楽しみました。

第１回かるがもクラブが４月９日、保健福祉センターで開かれ１２組の親子が参加しました。

第１回目は開講式が行われ、保健福祉課長が「同じく子育てをしている方々がいる。子育てを一人で抱え込まないようにかるがもクラブを活かして欲しい」とあいさつされました。開講式後は、歌に合わせて手遊びをしたり、風船遊びをしたりしながら、親子の交流を深めました。

想いを繋いだトーチを貸与
オリンピック聖火トーチを展示

合同会社ねっか代表社員・脇坂斉弘さんは４月５日、役場を訪問し聖火を運んだトーチを町へ貸与されました。

脇坂さんは「達成感がありました。多くの人に近くでトーチを見て頂ければと思います。」と話され、トーチを渡部町長へ手渡ししました。

貸与されたトーチは役場庁舎２階の町長室前に４月末まで展示され、来庁された方は本物のトーチを目の前で見ることができ感激していました。

▲脇坂さん（左）からトーチの貸与を受ける渡部町長（右）

町の話題

My Town Topics

皆さまからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。
地域創生課　☎82－5220　Fax 82－2117

子どもの健やかな成長を見守る
子どもクラブ開校式

　子どもたちの健やかな心身の成長や放課後の安心した居場所確保のために実施されている子どもクラブの開校式(只見地区)が４月１３日、只見振興センターで開かれ、スタッフ紹介や事業概要の説明が行われました。(朝日地区は１４日、明和地区は１５日に開催されました)

　主催者あいさつでは振興センター長が「スタッフと協力しながら、子どもたちみんなが安心して楽しく過ごせる場所となるようにします」とあいさつされ、今年度の子どもクラブがスタートしました。

▲開校式に参加した保護者の皆さん

会津只見考古館見納め
民具収蔵庫内覧会を開催

▲展示室（予定）を内覧する来館者

　民具収蔵庫（大倉）の内覧会及び会津只見考古館の見学会が４月１８日に開催され、３７人が来館されました。

　来館者は、会津只見考古館としての最後の展示を惜しみながらも新築された民具収蔵庫に感動していました。

　会津只見考古館は民具収蔵庫と一体的な展示を進めるための改修工事を実施し、「ただみ・モノとくらしのミュージアム」として令和４年春の開館を目指し、準備を進めています。

虫歯のない子

（4月27日 3歳児検診）

町のホームページをリニューアル

新型コロナウイルス感染症や豪雨などの水害の情報をより早く、分かりやすく発信するために、感染症情報、防災専用ページを設置しました。併せて、目的別に情報を探せるようにリニューアルしました。

リニューアル① 感染症専用ページ、防災専用ページの設置

新型コロナウイルス感染症情報専用ページでは、新着情報で感染者情報や対策本部等からのメッセージ、本町の対応といった情報が確認できます。

経営支援や生活支援情報については、支援実施主体ごとに整理し、探しやすくし、他にも感染症についての情報や問合せ先も整理することでいち早く知りたい情報へたどり着けるようになりました。

防災専用ページでは、災害時には緊急・災害情報でライフラインや交通関係の情報を入手しやすくしましたので、避難時の参考にしてください。

また、日ごろの防災情報の確認を簡単にするために、ハザードマップや気象情報、河川情報といったような防災のための情報を集約しました。

（くらし・行政情報ページ内、防災アイコンより災害未発生時も確認いただけます）

感染症情報専用ページは現在トップページに表示されています。防災専用ページは災害が発生した時に、トップページに追加で表示されます。

リニューアル② 必要な情報が探しやすくなりました

トップページ上部には、災害情報専用ページ、感染症専用ページの表示エリアを設置し、災害の際には、専用ページへ素早くアクセスできるようになりました。

トップページ左側には、メニューを設置し、訪問者の目的に合わせたページへ誘導します。

「くらし・行政情報」メニューは、マウスポインターを重ねると下層ページのメニューが展開し、より目的のページが探しやすくなりました。

リニューアル③ スマートフォンページのリニューアル

スマートフォンでも情報が探しやすく見やすいように表示をリニューアルしました。

災害情報、感染症情報も直ぐにアクセスできる位置へ設置しました。またパソコン版と同じようにメニューの展開ができ、情報へのアクセスが簡単になりました。

町では Facebook による情報発信もしています。
ぜひご覧ください。

広報ただみ診療所

朝日診療所
所長 若山（わかやま） 隆（たかし）

「コロナワクチン　みんなで受けましょう！」

只見のみなさま、しつこくて申し訳ありませんが、またコロナウイルスワクチンのお話です。みなさまの中には「私はもう年だし、どこにも出かけないから、ワクチンは受けなくていいや」とか「ワクチンは痛いらしいから受けたくない」と思ってしまう方もいるかもしれません。そのお考えも自然なことと思いますが、そこをあえて乗り越えてワクチンを受けに来ていただきたいのです。というのも“みんながワクチンを受ける”ことが非常に重要なんです。

コロナウイルスにこれまでの日常生活を脅かされない唯一の方法は“集団免疫を獲得する”という方法です。集団免疫とは、ある感染症にかからない（免疫をもつ）人が、集団のなかで一定割合以上になると、感染症が広まることができず流行しなくなることです。コロナウイルスの集団免疫の獲得には７０％の方が免疫をもつことが必要とされます。集団免疫を獲得できたとき初めて、町内でコロナウイルス患者が発生しても、友人宅でお茶することを控える必要もなく、遠方の親族も遠慮なく来町して顔を合わせることができ、飲食店を営む方もしっかり店を開け続けられて、学校なども普段通り授業を続けられるようになると考えられます。これが望ましい未来の姿だと思いませんか？

コロナウイルスに感染せず免疫を獲得するにはワクチンを接種するしかありません。現時点では小児に接種できるワクチンはありません。したがって７０％の方が免疫を獲得しようとすると、ほぼすべての成人の方が接種するぐらいでないと難しいのです。

みなさま一人一人のワクチン接種で自分の身を守ることはもちろん、周りのみんなの生活を守ることができます。集団接種に足を運ぶのは大変かと思いますが、何とぞご参加よろしくお願いします。

地域おこし協力隊として Vol.77

只見町教育振興協力隊
丹羽（にわ） 貴一（たかかず）

「大人と高校生が共に学ぶ場づくりへ」

町下庁舎にある公営塾「心志塾」塾長に着任して、早くも半月以上が経ちました。

忙しく慌ただしい毎日ですが、天気の良い日に自転車を漕いでいると、本当に景色に癒やされます。澄み渡った空と只見川のきらめく水面、そして遠くに見える山と雪。これから季節の移り変わりを日々味わえるのがとても楽しみです。

私は現在、只見高校と連携しながら仕事をしています。放課後校舎や心志塾での高校生の学習支援、只見高校への留学生の募集などの他、只見高校「総合的な探究の時間」の授業づくりのお手伝いもしています。この授業では、目黒麹店、ねっか、新国農園、役場の移住促進担当、など様々なジャンルの方に関わって頂いており、１年間の授業を通じて、大人と高校生が共に課題解決に向けて活動していきます。

ご協力頂く町の方々にお会いする中で、私も皆さんの熱い思いに大きな刺激を受けています。

自ら新たな仕事を切り拓く姿勢に触れたり、日本全国の山間地域に拡げるビジネスを生み出すビジョンをお聞ききしたりして、ひとつひとつのお話が高校生にとって大きな学びや知らない世界との出会いにつながるはず、と強く感じました。また、お会いした方々皆、只見町をこれから担う次世代を育てるために高校生の学びに協力したいとおっしゃってくださいます。今後３年間、授業を通じて町の方々と関われることが本当にありがたく、そして楽しみに感じています。

大人と高校生の出会いの場をつくること、興味や夢を共有する場をつくること、そして一緒にやってみる場をつくること。私も試行錯誤しながら、只見高校と只見町を舞台に、大人と高校生が共に学ぶ場づくりをしていきます。どうぞ、ご協力よろしくお願いします!!

只見町ブナセンター

ただみ・ブナと川のミュージアムへ行ってみませんか？

❶エントランスホール

ブナと川のミュージアムの入口をくぐるとエントランスホールがあり、只見町のブナの巨木（スクリーン）とクマ（はく製）が来場者をお出迎えします。また、棚には、自然と共生する只見町の地域産品が並べられています（購入が可能です）。

❷ただみの森へようこそ

順路の表示に従いエントランスホールを抜けると、只見町のブナと自然をテーマにしたパノラマシアターがあります。ブナの巨木、鳥や植物、渓流などの豊かな自然を再現しています。

また、只見町に生息する生物のはく製なども展示しています。

❸ただみの自然と暮らし

ただみの森のスロープを抜けると自然の中で文化を営んできた先人の知恵である様々な民具を展示し、人々の暮らしと只見川・伊南川の関わりをジオラマで再現しています。

❹雪国の手仕事

外仕事ができない冬期間は、植物のツルや皮などを材料に仕事道具や日用品を作りました。これらの植物を利用した生活の知恵を紹介しています。

❺企画展の開催

２階ギャラリースペースでは、只見町の自然と暮らす人々にスポットをあて、多彩なテーマの企画展を年に数回開催しています。パネル解説の他に標本やはく製なども展示されます。

「ただみ・ブナと川のミュージアム」は、ブナを中心とした自然環境とその自然を巧みに利用し暮らしてきた先人の知恵と技術を伝えるため２００９年に開館しました。

ミュージアムでは、只見町の雄大な自然とそこに息づく文化をゆっくり楽しむことができます。他地域との交流や自然学習の場、只見町の自然探索の足がかりとしてもぜひ利用ください。

只見町ブナセンター
友の会写真展「只見の自然と暮らしを撮る」開催中!!

　ただみ・ブナと川のミュージアム休憩室では、ブナセンター友の会会員が中心となり企画から展示まで行った写真展「只見町の自然と暮らし」が開催されています（観覧無料）。

展示されている写真は約５００枚！

　只見町の自然や文化の魅力をよく知るブナセンター友の会会員やその家族、また只見高校生など、町内外から集まった約５００枚の写真が、会場の壁いっぱいに展示されている様子は圧巻です。

自然だけじゃない！ 只見町の人々の魅力的な暮らし！

　この写真展の面白さは「只見町の自然の中で暮らす人々の生き生きとした表情」です。人々の何気ない日常を切り取った写真が、只見町の魅力を語りかけてきます。

あの人、あの場所、私たちの只見町

　雪の中で遊ぶ子どもたちや、かつての狩猟写真、団子さしの風景等、様々な写真を見に来られた方々は「あ、これは○○さんだ！」「昔はこーだことやったわや！」などそれぞれの只見町を思い思いに楽しまれていました。

○ 場　所　　ただみ・ブナと川のミュージアム　休憩室
○ 会　期　　令和４年３月３１日まで
○ 観覧料　　無料　※常設展及び企画展の観覧には入館料がかかります。
○ お問い合わせ
　只見町ブナセンター　☎０２４１－７２－８３５５、午前９時～午後５時（火曜休館）

町民文芸

只見短歌会　令和三年四月詠草

地震にて昂（たかぶ）る夜半（よわ）に一人居は二階に逃げしも眠れず過ごす　馬場　八智

友からのコロナ三密電話には今の元気を受話器に伝ふ　関谷登美子

物探すに手間どる我へ教ひたげに孫は笑顔で一点見つむ　目黒　富子

老い母に一人の遊び見付けよと言ひたる事が我が身となりぬ　渡部ゆき子

暖かき春の日続き石楠花の今を盛りと咲き誇りをり　新国由紀子

豪雪の年になれども日が差せば雪解け早く草花芽吹く　渡部ヨリ子

塩分を多目に控へ出しくるるわれに合はせし料理に感謝　新国　洋子

（出詠順）

只見俳句会　四月定例会　宇多喜代子　指導

お絵かきをせがまれなぞる春日和
春の日や杖忘れてる散歩道　都

葉桜や友の返信なきままに
ふきのとう病みてふる里恋う友に　弘　子

水やりし菜の花咲きぬ鍋の中
考古の地列島最後の桜かな　真理子

雪が舞い輝くさまが楽しげに
堅雪や田んぼの上の一人旅　睦　子

ざんざんと胸にとどろく雪解かな
なにゆきに生きて過ぎたる夕ざくら　恒　夫

新聞の見出しをひろう目借時
春の夜の文字をはなれし目をとじて　礼

母の日や母より貰う事多く
下萌や作業日誌は箇条書　一　穂

転校児不安のよぎる初桜
花時や子に追いつけぬ母ありて　修　一

みな底の乱れを拾い花筏
満作の花紛れ込み柴の束　幸　生

Information 今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係　財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係　広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税　務　係	☎82-5110
町　民　係	☎82-5100
保健福祉課	
保　健　係	☎84-7005
福　祉　係	☎84-7010
農林建設課	
農　林　係	☎82-5230
建　設　係	☎82-5270
観光商工課	
観光係　商工係	☎82-5240
会　計　室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
（歯科）	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税　今月の納期

5月25日までに納めましょう

- 軽自動車税（全期）
- 農集排使用料（5月分）

お知らせ

危険物取扱者保安講習実施について

保安講習の受講は、平成24年4月1日から改正法令により、原則として「当該免状の交付を受けた日又は当該講習を受けた日以降における最初の4月1日から3年以内」となりました。受講義務者で受講しない場合は「危険物取扱者免状の返納命令に関する運用基準」により違反点数の加点又は、免状返納の対象となる場合がありますのでご注意ください。

【受講対象者】

危険物の取扱作業に従事している方で

①危険物の取扱作業に従事した日から1年以内の方

②免状の交付を受けて、その後講習を受けていない方

③平成30年度以前に保安講習を受けて、その後講習を受けていない方

【受講申込書交付場所】

○各消防本部・消防署

○福島県各地方振興局

○福島県危険物安全協会連合会

○福島県各地方振興局

○福島県危機管理部消防保安課

【会場・開催日】

○郡山ユラックス熱海

7月14日、15日

○アピオスペース

7月21日

【講習区分】

○午前　給油

○午後　一般

【受付期間】

令和3年5月31日まで

【問合せ】

（一社）福島県危険物安全協会連合会

☎024－573－9600

試験

税務職員採用試験（高校卒業程度）のお知らせ

仙台国税局では、税務職員を募集しています。

【受験資格】

①令和3年4月1日において高校卒業後3年を経過していない者及び令和4年3月までに高校を卒業する見込みの者

②人事院が前項に掲げる者に準ずると認める者

【受験申込受付期間】

令和3年6月21日（月）から6月30日（水）まで

【受験申込方法】

インターネット申込とする（検索：国家公務員試験採用情報NAVI）

【第1次試験】

令和3年9月5日（日）

【試験に関する問合せ先】

仙台国税局

人事第二課試験研修係

☎022－263－1111

人事院東北事務局

☎022－221－2022

ブナりん健康ポイント 100ポイント達成 おめでとうございます！

山内君子さん（布沢）

小林トシ子さん（布沢）

「ブナりん健康ポイント制度」は、介護予防教室、町が主催する健康講座、各種検診などに参加するとポイントをもらうことができ、ポイント数に応じて健康グッズや只見町商品券などと交換できる仕組みとなっています。

新たな協力隊の方が就任しました！

教育振興協力隊
丹羽 貴一

名前：丹羽　貴一　　出身：愛知県名古屋市
主な担当業務：心志塾塾長

昨年の秋頃、前の職場に只見町教育委員会の方が視察に来られ、その時の縁がキッカケとなり只見町で協力隊となりました。

只見町に初めて訪れた時、紅葉の美しさに息をのみました。

趣味はドライブと音楽演奏で只見に来てからは管楽器にも挑戦しています。

この仕事を通じて、高校生にとっても町の大人にとっても、良い学びと経験になるような機会をたくさん作っていきたいです。ご協力お願いいたします。

名前：山越　香恋　　出身：兵庫県神戸市
主な担当業務：心志塾講師、寮のハウスマスター

昨年、教育への関心から公営塾に興味を持ち、１か月間只見町へインターンシップをしました。その時の町の方々の温かさにひかれ、協力隊として只見町に来ました。

只見高校生や町の方々との様々な経験を通して、視野を広げたいです。その中で高校生が只見町でやってみたいことに伸び伸びと取り組める環境を一緒に作っていきたいです。

只見町の皆さんと共に暮らしを送れることを非常に嬉しく思っています。社会人としても只見町民としても未熟者ですがよろしくお願いいたします。

教育振興協力隊
山越 香恋

町長スケジュール〈4月分〉

１日　只見町副町長・教育長就任式、町職員辞令交付式、教育委員辞令交付式、定例庁議、新型コロナウイルス対策本部会議、豪雪対策本部会議、町小中学校教職員着任あいさつ
２日　南会津地方広域市町村圏組合事務局長着任あいさつ、南会津建設事務所長着任あいさつ、南会津警察署長着任あいさつ
５日　土地連南会津支部副支部長委嘱状交付、町内駐在所職員着任あいさつ
６日　只見小学校入学式、只見中学校入学式
７日　奥会津振興センター事務局長着任あいさつ
８日　只見高等学校入学式、只見町山村教育留学生対面式
９日　会津総合開発協議会役員会（会津若松市）
１０日　ブナセンター友の会写真展オープニング
１２日　南陽会理事長他新年度あいさつ、東北電力ネットワークセンター㈱田島電力センター所長他新年度あいさつ、臨時庁議、新型コロナウイルス対策本部会議、豪雪対策本部会議
１３日　有害狩猟鳥獣捕獲隊辞令交付式
１４日　東北電力㈱副社長他新年度あいさつ
１５日　町建設業協会役員新年度あいさつ
１６日　ＪＲ東日本仙台支社長新年度あいさつ
１７日　大西国土交通副大臣会津地方視察
１９日　町納税貯蓄組合連合会総会、福島県生活環境部長他新年度あいさつ
２０日　町政報告会
２１日　只見町森林組合総代会、会津総合開発協議会南会津地方部会、会津総合開発協議会、会津・野岩鉄道利用促進協議会（会津若松市）
２３日　お菓子の城社長表敬訪問（那須塩原市）
２６日　只見特産㈱取締役会、大西国土交通副大臣オンライン要望活動
２７日　ＪＲ只見線利用促進実行委員会、臨時庁議、新型コロナウイルス対策本部会議
２８日　只見町鳥獣被害対策協議会、只見町農業再生協議会総会

町民の消息

（３月２６日～４月２５日届出分）敬称略

■ご結婚おめでとうございます

黒谷　菊地　伸仁 ♡ トリング プロスベン リンパンゴッグ　黒谷

■おくやみ申し上げます

横　山	ヨシ子	９７	長　浜
山　内	光	２１	二軒在家
鈴　木	潔	８５	長　浜
五十嵐	キヌエ	８８	長　浜
渡　部	稔	８６	福　井
五十嵐	チヱコ	８３	只　見
酒　井	アキ子	８９	黒　沢
星	ハツ子	９５	長　浜

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和３年４月１日現在

人　口	4,000	（－32）
男	1,957	（－17）
女	2,043	（－15）
世帯数	1,703	（－27）
高齢化率	46.8％	

※高齢化率とは、６５歳以上の人が人口に占める割合です。

転入　３０　転出　５７　出生　４　死亡　９

あとがき

▽５月号が配布になるころには新型コロナウイルスワクチン接種が始まっているかと思います。接種を希望されている方は忘れずに受けましょう。

▽５月号を制作している間に、只見町内でも桜が咲き始めました。周りを見渡すと雪が残っており、桜と雪を同時に見ることができる風景は全国的に見ても珍しいのではないでしょうか。

（小林）

明和振興センター
図書紹介
令和3年5月

明和振興センター図書室
☎86-2111
山内 希実子

おすすめ新着図書

★52ヘルツのクジラたち

町田そのこ／著
（中央公論新社）

「わたしは、あんたの誰にも届かない52ヘルツの声を聴くよ」自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれていた少年。孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

『2021年本屋大賞』受賞作品です!!

★パンどろぼう

柴田ケイコ／著
（KADOKAWA）

まちのパンやから　サササッととびだす　ひとつのかげ。

パンがパンをかついでにげていきます。パンに包まれた、その正体とは?!　お茶目で憎めないパンどろぼうが、今日も事件をまきおこす！

シュールな表現とインパクト、最後はほっこり。パンどろぼうくんの魅力にくぎづけになること間違いなし!!

○明和振興センターではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

町民憲章

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

只見町ブナセンター
TEL 0241(72)8355

エビネ

（学名：*Calanthe discolor*）　（写真・文　緒勝祐太郎）

【ラン科エビネ属】

▲ 林内に群生するさまはひときわ目立つ

▲ 白い花弁にほんのり赤みが入った個体

エビネは日本全国に広く分布する多年生のラン科植物で、主に人里近くの落葉広葉樹林やスギ林に生育します。和名の「海老根（えびね）」は、地中にある茎の一部が肥大化したところをエビに見立てたことに由来します。花茎は高さ30～40㎝と大柄で、8～15個の花を春から初夏にかけて咲かせます。花の色は実に多様で、萼（がく）は暗褐色や淡緑色に染まり、下向きの３つに分かれた花弁は白色から淡紅白色のものまで特徴的です。只見町では山地一帯が新緑に包まれる５月中旬から開花し、林内を鮮やかに彩ります。

エビネの仲間は、分布域や開花時期が重なる近縁種の間で自然交雑を生じることがあります。また、同一種内における花色や形の変異も大きく、これらをかけ合わせた園芸品種が数多く生み出されています。こうしたエビネ類などラン科植物の栽培は1970年代から全国的なブームとなり、只見町においても自生地での盗掘・乱獲が相次ぎました。その結果、ランの仲間の中では比較的普通に見られたエビネは各地で激減し、加えて生育地での開発による環境改変も大きな脅威となり絶滅の危機に追いやられました。

エビネを含むラン科植物の根は「ラン菌」と呼ばれる菌と共生しており、種子もこの菌がなければ発芽しないとされます。しかし、ラン菌が森の中で一様に繁殖しているとは限りません。そのため、野外のエビネを保全するには、植物自身を乱獲から守るほか、自生地の生育環境もあわせて残していくことが重要なのです。

只見町ブナセンターからのお知らせ

只見町ブナセンター付属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

企画展アーカイブ「只見の春植物とその生活史」

会　期：２０２１年４月３日(土)～２０２１年５月３１日(月)
場　所：ただみ・ブナと川のミュージアム　２階ギャラリー

※この広報紙は再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

■ 発行／只見町　〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下2591-30
■ 編集／地域創生課広報広聴係　https://www.town.tadami.lg.jp/　☎ 0241(82)5220